

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立文学館	所管課	教育委員会 学術文化財課
所在地	甲府市貢川1-5-35	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月3日
管理方式	SPS・桔梗屋グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立文学館設置及び管理条例		
設置目的	文学に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○建築面積 約 3,258㎡ ○建築延面積 約 6,168㎡ ○鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階(一部3階)建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・展示室2室(998㎡) ・閲覧室(246㎡) ・研修室3室(159㎡、150人) ・講堂(655㎡、509人) ・個人研究室2室(7㎡) ・共同研究室2室(27㎡) ・収蔵庫(235㎡) ・書庫(412㎡) ・ロビー ・事務室 ・喫茶 等 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設の利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)展示室及び工房等を一般の使用に供することに関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	三島由紀夫文学館(南都留郡山中湖村)、徳富蘇峰館(南都留郡山中湖村)、横溝正史館(山梨市)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	利用者数	123,840	135,543	119,771	
	利用者数合計	123,840	135,543	119,771	
	目標値	111,500	108,000	101,000	131,000
目標値設定の考え方及びその理由	平成24年度実績に基づく指定管理募集提案時の目標数				
対28年度比		109.5%	96.7%	105.8%	
利用率	405人/日	446人/日	395人/日	432人/日	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	指定管理者委託料	118,854,000	118,772,639	118,772,639	115,110,620
	その他	3,468,361	6,081,160	3,037,747	3,661,157
	収入合計(A)	122,322,361	124,853,799	121,810,386	118,771,777
支出	人件費	40,299,379	41,111,900	40,996,395	37,130,787
	県への納付金				
	管理運営費	82,623,206	83,741,899	80,177,955	81,640,990
	うち外部委託費(B)	39,346,128	40,590,288	40,590,288	40,689,264
	支出合計(C)	122,922,585	124,853,799	121,174,350	118,771,777
収支差額(A-C)	△ 600,224		636,036		
外部委託比率(B÷C)	32.0%	32.5%	33.5%	34.3%	
利用者一人当たりの経費	877	1,176	992	879	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～31年3月 実施方法:来館者へのアンケート、回答数321人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備の充実度	70.7%	28.1%	0.4%	0.8%
施設設備の整備状況	72.1%	26.3%	0.8%	0.8%
サービスの内容	68.3%	30.5%	1.2%	
また来館したいか	98.1%			1.9%
施設全般の満足度	72.0%	27.6%		0.4%

利用者の意見	<p><肯定意見> 作品の充実、展覧会の内容、施設の清潔さや雰囲気、スタッフの対応(接遇)、観覧料金体系</p> <p><否定意見> 公共交通機関の充実度、アクセス、駐車場の空き状況、空調や照明などの機械音</p>
利用者の意見への対応	<p>1ヶ月に1度、アンケートの内容を県直営部門と指定管理が共有し、対応を協議している。緊急度の高いものやソフト面でカバーできるものを優先に実施している。展示室の照明や空調の機械音などについては老朽化もあり設備の維持管理が困難になってきているが、お客様の安全や鑑賞空間の維持を考え、順次対応を行なっている。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施。法令順守を前提に、専門業者に委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。また、正面の自動ドア老朽化による修繕等、緊急を要するものは県直営部門と調整を密に行い即時対応するなど、安心安全な管理を実施することができた。	業務仕様書・業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
運営業務	業務計画書に基づき、経験や知見が豊富な職員を配置し、円滑な運営を行うとともに、入館者や近隣住民からの要望にも柔軟に対応した。 また、突発的な事項には、館内で十分調整した上で進めるなど、館一体となり運営業務に取り組むことが出来た。	業務仕様書・業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
利用状況	夏休み期間中に開催した特設展「童話の花束」展は、同時期に美術館で同様の客層をターゲットとした「魔法の美術館」展を開催していることから、美術館展示室の出入りにチラシを設置する、また、ポスターやチラシのデザインを可愛らしくするなど子どもに興味・関心を与える工夫を行った。その結果、観覧者数は5,242人と目標の5,000人を達成している。 一方、常設展については「まっふる山梨」への掲載、旅行社商談会への出席を通じた広報活動を実施したが19,736人と目標の21,907人には届かなかった。	日頃、各種雑誌等への記事の掲載、WEB広告、他の業者とのタイアップ広告など、様々な方法で積極的に広報を行っている。 また、美術館来場者を文学館へ誘導するなど2館を一括して管理する強みを活かした入館者の増加策を講じている。 今後も、目標値の達成に向け広報活動等を積極的に取り組んでいただきたい。
収支状況	電気使用量は、天候や館内の利用状況に応じて、こまめな節電等を進めたことにより抑える事ができた。その結果、単価は上がったものの、電気料は前年度とほぼ同額となり、光熱費全体でも前年度並みに抑えることができた。	こまめな節電等により効率的な施設管理に努めている。 今後もより一層の効率化を進め、経費削減に努めたい。
自主事業	これまで培った知見や実績を最大限に発揮し、県直営部門とも十分協議し自主事業を実施した。公園にある彫刻をガイド付きで巡る彫刻探検ツアーでは特別バージョンとして飯田蛇笏、龍太の句碑も案内に追加し、文学的な理解も深めていただけるよう工夫した。 また、平成27年度から開催しているミュージカルシェでは新たに文学館の研修室を託児所として活用するなどお客様の利便性の向上を図った。	ゴールデンウィークの鯉のぼり作成、七夕の飾り付け、ひな祭りなど季節ごとのイベントを通じて、新たな来館者特にファミリー層の獲得に向け様々な企画を行っている。 今後も、民間企業のノウハウを活かし、新規利用者の開拓・利用者サービスの向上に取り組んでほしい。
利用者満足度	アンケート調査では「満足・十分」への返答が84.5%あり、昨年と大きな変動は見られなかった。今後もお客様のご意見を把握し、満足を得られる活動が展開できるように取り組んでいきたい。	利用者アンケートの結果からも、利用者への対応が適切に行われていると考えられる。 今後も、より一層、利用者満足度の向上に努めてほしい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>業務仕様書等に示された業務を県直営学芸部門と適切に実行業務仕様書等に示された業務を県直営学芸部門と適切に実行した。利用者数は119,771人で目標としていた101,000人を上回った。観覧者数については、常設展では19,736名と目標の89%だったものの、特設展・企画展では17,042名と目標の107%となり、特設展や企画展の県内外への広報活動を充実させたことが達成に繋がった。</p> <p>また「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日」などの大型事業や七夕などのイベントを開催し、「山梨県立文学館」の認知度アップにつなげた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理、運営については業務仕様書・業務計画書に基づき、県直営部門と連携し適正に実施されていた。また、1万3千人以上の方が来園した自主事業「ミュゼ・マルシェ」において文学館内に託児所を設けるなど、来園者に対しきめ細かな配慮を行っている。</p> <p>美術館との一括運営の強みを活かし、美術館来場者を文学館へ誘導するなど利用者増加策を講じている。また、ゴールデンウィークや七夕といった季節ごとのイベントを通じ、ファミリー層の開拓を行っている。</p> <p>今後は、県直営部門との連携を深めつつ、新たな客層の開拓をなお一層積極的に行い、総観覧者数目標の達成につながるよう努力してほしい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>令和元年度開館30周年を迎える施設だけに、設備関係の不具合が各所に見られるようになった。老朽化の事例としては正面玄関の自動ドアの開閉がスムーズに対応しなくなり、県直営部門と調整し緊急修繕をおこなった。</p> <p>運営面では、来館者増を期待し、エントランスやロビーを季節ごとに工夫した装飾での演出やミニWSを開催するなど気軽に出かけていただける工夫を行うほか、季節の恒例イベントとして定着してきた「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日」を美術館と連携して開催した。今後については継続実施しているアンケート結果も踏まえ、来館きっかけとなる仕掛けを考えていきたい。特に来年度は開館30周年という記念イヤーのため、お祝い色を出しつつ、山梨県民にとって誇れる存在、ポジションを維持しながらも新たな客層をも取り込む開かれた文学館を目指し、運営していく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

